

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	文化芸術による都市間交流事業
事業主体 (連絡先)	松本市 (政策部 文化振興課 0263-34-3293)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,266,151円 (うち支援金: 1,117,000円)

#### 事業内容

- 都市間交流のきっかけづくりとして、松本市の魅力である3つのガク都(岳都・楽都・学都)を実際に訪れ、体感する文化体験・交流モニターツアーを実施
- 金沢市、札幌市、鹿児島市、熊本市及び福岡県宗像市の市民を対象に応募のあった39人が参加
- 共通プログラムの他、各コースに分かれ普段の観光とは一味違う特別プログラムを体験
  - ・ 上高地に泊まり五感で自然を感じるナイトウォーク、早朝ガイドウォーク
  - ・ 奈川に泊まり、そば打ち体験や天体観測、住民が持ち寄った郷土料理を囲んでの交流会
  - ・ 松本城天守床磨き体験、松本七夕人形製作体験等



【体験プログラムの様子】

#### 【目標・ねらい】

- ① 松本市を知ってファンを増やす
- ② 参加者の言葉で魅力を発信してもらう
- ③ 市民間の継続的な文化交流につなげる
- ④ 都市間の交流人口を拡大する

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 松本市を知り、その良さを広めてもらうことで、交流人口拡大につなげるという展開が結実しつつある。
- 参加者の各プログラム満足度が非常に高く、圧倒的多数が再来松を希望する結果となった他、参加者によるSNS、新聞投稿等での「松本の魅力」の情報発信も増え、松本市のファンづくりに成功
- 体験プログラムに松本市民を巻き込んだ結果、その後交流が継続するケースが出てきている。
- ファンに留まらず、居住地で松本市のPR活動としても良いという人が多数に

#### ※自己評価【 A 】

##### 【理由】

- 松本市の隠れた魅力の掘り起しが、交流の契機となりうる事が分かったこと。
- 住民を交えた企画により、新たな市民交流の芽が生まれてきていること。
- 応募の際に交流についての記述を求めたことで今後につながる意欲的な参加者が多く集まったこと。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 居住地で松本市の情報発信、PRに協力いただける参加者を(仮称)ガク都大使に任命し、交流継続、展開の足掛かりをつくる。
- 市としてもSNS等を活用し、参加者等を巻き込んだ情報発信、シティプロモーションを強化する。
- 交流の「導入」から「展開」へつながる事業モデルについて研究する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある